

平成25年度事業報告書

自 平成25年 1月 1日
至 平成25年12月31日

平成26年3月

一般社団法人大学監査協会

目 次

【会務の概況】

理事会	2
総 会	3
委員会	4

【活動の概況】

会議、研修会並びに研究会議	9
刊行物	15

【研究成果】	15
--------	----

【事業計画書】	16
---------	----

【会員の増減】	20
---------	----

【平成25年12月31日現在の会員名簿】	20
----------------------	----

【役員名簿】	21
--------	----

【委員会委員名簿】	22
-----------	----

【会務の概況】

理事会

- ・ 3月11日 第19回理事会 於：関西大学 東京センター
 - I. 議題
 - 第1号 平成24年度事業報告の承認に関する件
 - 第2号 平成24年度決算の承認に関する件
 - 第3号 理事及び監事並びに顧問の任期満了に伴う改選に関する件
 - 第4号 監事監査委員会における事業展開に伴う委員会名称の変更について
 - 第5号 教学監査委員会の今後の活動方針について
 - 第6号 教学監査委員会委員長並びに内部監査委員会委員長の選任について
 - II. 協議事項
 - 第1号 学校法人会計基準の在り方について
 - III. 報告事項
 - 第1号 リスクマネジメント委員会報告「大学経営の機能評価」について
 - 第2号 内部統制委員会報告「大学における内部統制に関する基準」について
- ・ 6月18日 第20回理事会 於：関西大学 東京センター
 - I. 議題
 - 第1号 教学監査委員会並びに広報委員会の委員の選任について
 - 第3号 内部監査に関するアンケートについて
 - 第4号 内部監査事案研究集の作成について
 - 第5号 大学法人等の内部監査業務への支援事業について
 - II. 協議事項
 - 第1号 「財務会計の概念フレームワークと学校法人会計基準における課題」について
 - 第2号 「大学法人のディスクロージャー制度—その目的と体系化」について
 - 第3号 経営リスク体系、リスクマップ並びに分野別内部監査留意事項について
 - III. 報告事項
 - 第1号 機関誌『大学サステナビリティ研究』（仮称）の発刊に向けてについて
 - 第2号 本協会の平成25年度の活動状況並びに今後の研究会議・研修会の開催等について
- ・ 11月12日 第21回理事会 於：関西大学 東京センター
 - I. 決議事項
 - 第1号 理事の辞任に伴う補欠選任について
 - 第2号 第8回総会議事次第案について
 - 第3号 教学監査基準普及のための活動方針について
 - 第4号 内部監査事例研究集について
 - 第5号 内部監査員の派出支援事業に伴う監査業務契約書(案)について
 - 第6号 大学監査委員会並びに内部監査委員会の委員の選任について
 - II. 協議事項
 - 第1号 企画委員会からの本協会の事業に関する提案内容について
 - 第2号 本協会の平成26年度事業計画案について
 - 第3号 大学監査委員会報告「大学監査の在り方と充実・強化に関する提言」について
 - 第4号 会計・財務委員会報告「大学法人における概念フレームワークの研究と学校法人会計における課題」について
 - 第5号 会計・財務委員会報告「大学法人のディスクロージャー—その目的と体系化」について

- Ⅲ. 報告事項 第1号 監事監査におけるアンケートについて
第2号 大学の内部監査に関するアンケートについて
第3号 本協会の平成25年度の活動状況並びに今後の研究会議の開催等について

- ・ 12月18日 第22回理事会 於：関西大学 東京センター
- I. 決議事項 第1号 平成26年度事業計画案について
第2号 平成26年度予算案について
第3号 内部監査委員会委員の選任について
- II. 協議事項 第1号 大学監査委員会報告「大学監査の在り方と充実・強化に関する提言」について
第2号 会計・財務委員会報告「大学法人の会計における概念フレームワークの研究と学校法人会計における課題」について
第3号 会計・財務委員会報告「大学法人のディスクロージャー—その目的と体系化」について
第4号 内部監査委員会報告「大学の経営リスク体系・リスクマップ・分野別内部監査留意事項」について
- Ⅲ. 報告事項 第1号 監事監査におけるアンケートについて
第2号 大学の内部監査に関するアンケートについて
第3号 本協会の平成25年度の活動状況について

総会

- ・ 3月11日 第7回総会 於：関西大学 東京センター
- I. 議題 第1号議案 本協会の平成24年度事業報告の承認に関する件
第2号議案 本協会の平成23年度決算の承認に関する件
第3号議案 理事及び監事並びに顧問に任期満了に伴う改選に関する件
- II. 協議事項 第1号 学校法人会計基準の在り方について
- Ⅲ. 報告事項 第1号 リスクマネジメント委員会報告「大学経営の機能評価」について
第2号 内部統制委員会報告「大学における内部統制に関する基準」について
- ・ 12月18日 第8回総会 於：関西大学 東京センター
- I. 決議事項 第1号議案 平成26年度事業計画案に関する件
第2号議案 平成26年度予算案に関する件
- II. 協議事項 第1号 大学監査委員会報告「大学監査の在り方と充実・強化に関する提言」について
第2号 会計・財務委員会報告「大学法人の会計における概念フレームワークの研究と学校法人会計における課題」について
第3号 会計・財務委員会報告「大学法人のディスクロージャー—その目的と体系化」について
第4号 内部監査委員会報告「大学の経営リスク体系・リスクマップ・分野別内部監査留意事項」について

- Ⅲ. 報告事項 第1号 監事監査におけるアンケートについて
 第2号 大学の内部監査に関するアンケートについて
 第3号 本協会の平成25年度の活動状況について

委員会

1. 企画委員会

- ・ 6月28日 第1回 於：立命館大学 東京キャンパス
 協議事項 1. 当協会の公益社団法人化に向けた事業展開について
 2. 【1】を踏まえた平成25年度事業計画の策定に向けた今後の事業推進方策について
- ・ 8月5日 第2回 於：立命館大学 東京キャンパス
 協議事項 1. 公益性を踏まえた大学監査協会の事業展開について
 2. 平成26年度事業計画の策定に向けた課題について
- ・ 10月16日 第3回 於：立命館大学 東京キャンパス
 協議事項 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 2. 平成26年度事業計画の策定に向けた課題について
- ・ 11月15日 第4回 於：関西大学 東京センター
 協議事項 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 2. 平成26年度事業計画案の策定に向けた課題について
- ・ 11月22日 第5回 於：関西大学 東京センター
 協議事項 1. 平成26年度事業計画案の策定について

2. 大学監査委員会

- ・ 4月10日 第1回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項 1. 大学監査のあり方について
 2. 大学監査のモデルの策定について
 3. 大学監査品質管理基準の策定について
- ・ 5月1日 第2回 於：仰星監査法人
 協議事項 1. 大学監査のあり方について
 2. 大学監査のモデル（事例研究）について
 3. 大学監査品質プログラムの策定について
- ・ 6月13日 第3回 於：仰星監査法人
 協議事項 1. 大学監査のあり方について
 2. 大学監査のモデル（事例研究）の策定について
 3. 大学監査品質プログラムの策定について
- ・ 6月26日 第4回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項 1. 大学監査のあり方について
 2. 大学監査のモデル（事例研究）の策定について
 3. 大学監査品質プログラムの策定について

- ・ 8月 6日 第5回 於：仰星監査法人
 協議事項 1. 大学監査のあり方について
 2. 大学監査のモデル（事例研究）の策定について
 3. 大学監査品質プログラムの策定について
- ・ 8月28日 第6回 於：仰星監査法人
 協議事項 1. 大学監査のあり方について
 2. 大学監査のモデル（事例研究）の策定について
 3. 大学監査品質プログラムの策定について
- ・ 10月 9日 第7回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項 1. 大学監査のあり方について
 2. 大学監査のモデル（事例研究）の策定について
 3. 大学監査品質プログラムの策定について
- ・ 11月 6日 第8回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項 1. 大学監査の在り方と充実・強化に関する提言について
- ・ 12月11日 第9回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項 1. 大学監査の在り方と充実・強化に関する提言について

3. 教学監査委員会

- ・ 5月23日 第1回 於：新丸の内ビルディング
 協議事項 1. 教学監査の普及について
- ・ 6月 7日 第2回 於：新丸の内ビルディング
 協議事項 1. 教学監査の普及について
- ・ 7月24日 第3回 於：新丸の内ビルディング
 協議事項 1. 教学監査の普及について
- ・ 9月 2日 第4回 於：新丸の内ビルディング
 協議事項 1. 教学監査の普及について
- ・ 11月7日 第5回 於：関西大学 東京センター
 協議事項 1. 教学監査の普及について

4. 会計・財務委員会

- ・ 1月18日 第1回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項 1. 「文部科学省『学校法人会計基準報告書（素案）』に関する意見」を踏まえた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計（戦略会計）の導入の検討について
- ・ 2月15日 第2回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準

の今後のあり方について

2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について

- 3月 8日 協議事項 第3回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について

- 4月 17日 協議事項 第4回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について

- 6月 5日 協議事項 第5回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について

- 7月 31日 協議事項 第6回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について

- 8月 28日 協議事項 第7回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について

- 9月 17日 協議事項 第8回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について

- 10月 29日 協議事項 第9回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計

の導入の検討について

- ・ 1 1 月 1 8 日
協議事項
第 10 回
於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
1. 一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に向けた学校法人会計基準の今後のあり方について
2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
- ・ 1 2 月 9 日
協議事項
第 11 回
於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
1. 大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題について
2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
- ・ 1 2 月 1 7 日
協議事項
第 12 回
於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
1. 大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題について
2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について

5. リスクマネジメント委員会

- ・ 1 月 2 1 日
協議事項
第 1 回
於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
1. 大学におけるリスクと機能評価の関連について
2. 大学経営機能評価のための評価表の策定について
- ・ 2 月 1 8 日
協議事項
第 2 回
於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
1. 大学におけるリスクと機能評価の関連について
2. 大学経営機能評価のための評価表の策定について
- ・ 3 月 4 日
協議事項
第 3 回
於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
1. 大学におけるリスクと機能評価の関連について
2. 大学経営機能評価のための評価表の策定について
- ・ 7 月 2 6 日
協議事項
第 4 回
於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
1. 大学経営品質評価基準の策定について
2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について
- ・ 9 月 6 日
協議事項
第 5 回
於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
1. 大学経営品質評価基準の策定について
2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

6. 内部監査委員会

- ・ 4 月 9 日
協議事項
第 1 回
於：立命館大学 東京キャンパス
1. 2013 年度内部監査委員会の活動計画について
2. リスクユニバース、リスクマップの作成について
3. 「分野別内部監査の留意事項」の追加作成及びブラッシュアップについて

4. 大学の内部監査のあり方等の作成にあたって

- ・ 6月 5日 第2回 於：立命館大学 東京キャンパス
協議事項 1. リスクユニバース、リスクマップの策定について
2. 分野別内部監査の留意事項の策定について
3. 大学の内部監査アンケート内容について
4. 内部監査員の派出支援事業について
- ・ 7月16日 第3回 於：立命館大学 東京キャンパス
協議事項 1. リスクユニバース、リスクマップの策定について
2. 分野別内部監査の留意事項の策定について
3. 大学の内部監査アンケート内容について
4. 内部監査員の派出支援事業について
- ・ 10月15日 第4回 於：立命館大学 東京キャンパス
協議事項 1. リスクユニバース、リスクマップの策定について
2. 分野別内部監査の留意事項の策定について
3. 内部監査員の派出支援事業について
4. 内部監査事案研究集について
- ・ 11月29日 第5回 於：立命館大学 東京キャンパス
協議事項 1. リスクユニバース、リスクマップの策定について
2. 分野別内部監査の留意事項の策定について
3. 内部監査事案研究集について
4. 内部監査実施要領(仮)の作成について

内部監査委員会ワーキンググループ

- ・ 8月 8日 第1回 於：武庫川女子大学 東京センター
協議事項 1. 内部監査研究会議（平成25年9月3日開催予定）の運営内容について
2. 内部監査事案研究集の策定について
- ・ 8月29日 第2回 於：東京理科大学 金町キャンパス
協議事項 1. 内部監査事案研究集の策定について
2. 内部監査研究会議（平成25年9月3日並びに9月27日開催予定）の運営内容について
- ・ 9月 9日 第3回 於：東京理科大学 金町キャンパス
協議事項 1. 内部監査事案研究集の策定について
2. 内部監査研究会議（平成25年9月27日開催予定）の運営内容について
- ・ 10月 1日 第4回 於：東京理科大学 金町キャンパス
協議事項 1. 内部監査事案研究集の策定について

7. 広報委員会

- ・ 4月30日 第1回 於：立命館大学 東京キャンパス
協議事項 1. 機関誌『大学サステナビリティ研究』（仮称）第1号の原稿内容について
2. 『大学監査協会ニュース』について

- ・ 5月31日 第2回 於：立命館大学 朱雀キャンパス
- 協議事項 1. 機関誌『大学サステナビリティ研究』（仮称）第1号の原稿内容について
- 2. 『大学監査協会ニュース』について

会議、研究会議並びに研修会

1. 監事会議

- ・ 7月30日 監事会議 於：東京理科大学 森戸記念館
 ～目標なきところに監査なし～ 参加人数 33名
 大学を生かす戦略を考えていくに当たって、“of management”と“for management”の観点から大学法人における監査は今後どうあるべきかについて、監事の立ち位置、教学監査のあり方をどのように考えていくのかの課題・論点等について協議を行った。
 内容 1) 「大学のガバナンスと監事の基本的課題」
 講師：齋藤 力夫 氏（永和監査法人 会長）
 2) 「教学監査の思想と必要性、およびその普及の方法論」
 講師：工藤 一彦 氏（東京電機大学 特別専任教授）

2. 大学マネジメント会議

- ・ 1月28日 大学マネジメント会議 於：早稲田大学 総合学術情報センター国際会議場
 ～労働契約法が及ぼす大学へのリスク～ 参加人数 93名
 労働契約法の改正により有期労働契約に対する規制の強化がされ、この改正がもたらす影響のほか、様々な人事管理や経営上のリスクを探るとともに、こうしたリスクをどのように乗り越え、そのリスクをどのようにチャンスに変えていくかについて討議を行った。
 内容 1) 「労働契約法改正の意味するところ」
 講師：厚生労働省労働基準局労働条件政策課担当官
 2) 「大学がかかえるリスクをどのように乗り越えるか」
 講師：清水 敏 氏（早稲田大学 副総長）
 3) パネルディスカッション
 司会：西野 芳夫 氏（関東学院大学 経済学部教授）
- ・ 3月26日 大学マネジメント会議 於：文京学院大学 本郷キャンパス
 ～戦略的大学の経営の構築に向けて～ 参加人数 23名
 文部科学省が平成24年6月に発表した「大学改革実行プラン」において提示された大学改革の方向性としての大学機能の再構築に向けて、大学経営の評価・改善に必須の「教学監査」の役割と「次世代」の経営・教学のガバナンスの必要性等について討議を行った。
 内容 1) 「戦略的大学の経営のための2つのPDCAサイクルとこれを支える教学監査」
 講師：工藤 一彦 氏（芝浦工業大学 シニア教授）
 2) 「戦略的大学の経営のためのガバナンス構築とプロジェクトマネジメント」
 講師：植草 茂樹 氏（新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー）

3. 教学監査研究会議

当会議の課題である教学監査のあり方について、3月26日開催の大学マネジメント会議並びに7月30日開催の監事会議において協議を行った。
 教学監査研究会議としては、会議設定は行わなかった。

4. 内部監査研究会議

- ・ 6月25日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学における内部監査はどこへ行く～ 参加人数 44名
—内部監査のはずしてはいけない課題—

今、大学では費用支出の適切性を図る仕組みの構築と支出内容の説明責任の要求、加えて大学経営の効率化や経営品質の向上への実現などが求められ、それらに対応するために、内部監査の資質の研究、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法。監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについて協議を行った。

内容 1) 「内部監査の基本と最近のトレンド」

講師：辻 さちえ 氏 (有限責任監査法人トーマツ パートナー)

2) 「大きな熱意と責任感に少しの知恵と冷や汗を加えればできる

『大学運営に貢献する内部監査』

講師：古閑 宣仁 氏 (東京理科大学 監査室長)

- ・ 9月 3日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 神楽坂キャンパス
～大学における内部監査のありよう～ 参加人数 30名

今、大学では費用支出の適切性を図る仕組みの構築と支出内容の説明責任の要求、加えて大学経営の効率化や経営品質の向上への実現などが求められ、それらに対応するために、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法。監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについてグループワークを交えて意見交換・協議を行った。

内容 1) 「大学における内部監査の課題」

講師：奈尾 光浩 氏 (有限責任監査法人トーマツ シニアパートナー)

2) 「身近な事例研究で身につく大学内部監査の実践テクニックの基本」

講師：古閑 宣仁 氏 (東京理科大学 監査室長)

久米 信行 氏 (神奈川大学 内部監査室長)

- ・ 9月27日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学における内部監査画取り組む課題は何か～ 参加人数 36名

今、大学では費用支出の適切性を図る仕組みの構築と支出内容の説明責任の要求、加えて大学経営の効率化や経営品質の向上への実現などが求められ、それらに対応するために、まず公的研究費をはじめ学内研究費の管理・監査にかかわって実効性のある取り組みを図ることから進め、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについてグループワークを交えて意見交換・協議を行った。

内容 1) 「公的研究費の管理・監査に関する取り組み」

講師：坂野 豊和 氏 (文部科学省研究振興局研究振興企画課競争資金調整室)

2) 「第2回 身近な事例研究で身につく大学内部監査の実践テクニックの基本」

講師：古閑 宣仁 氏 (東京理科大学 監査室長)

- ・ 11月13日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学における内部監査にかかわる課題にどのようにかわるか～ 参加人数 62名

今、大学では費用支出の適切性を図る仕組みの構築と支出内容の説明責任の要求、加えて大学経営の効率化や経営品質の向上への実現などが求められ、それらに対応するために、まず公的研究費をはじめ学内研究費の管理・監査にかかわって実効性のある取り組みを図ることから進め、大学における内部監査の機能か、大学価値を高める視点から、大学における内部統制の有効性の

評価に不可欠で、大学内のコミュニケーションを促進し、大学内のコンサルタントの役割を果たすことになることから、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについてグループワークを交えて意見交換・協議を行った。

- 内容 1) 「公的研究費並びに補助金の管理・監査に関する会計検査院の視点」
講師: 皆川 勇一 氏 (会計検査院 文部科学検査第1課 文部科学統括検査室室長)
- 2) 「第3回 身近な事例研究で身につく大学内部監査の実践テクニックの基本」
講師: 古閑 宣仁 氏 (東京理科大学 監査室長)

- ・ 12月 2日 内部監査研究会議 於: 東京理科大学 森戸記念館
～広がりを見せる大学内部監査の課題にどのように取り組むか～
参加人数 22名

大学監査にかかわって実効性をもたらす取り組みをどのように進めていくかを考えていくこととし、国の大学連携推進の動きを踏まえて、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについてグループワークを交えて意見交換・協議を行った。

- 内容 1) 「大学の産学連携活動の評価」
講師: 佐藤 文一 氏 (経済産業省 大学連携推進室長)
- 2) 「第4回 身近な事例研究で身につく大学内部監査の実践テクニックの基本」
講師: 古閑 宣仁 氏 (東京理科大学 監査室長)

- ・ 12月20日 内部監査研究会議 於: 東京理科大学 森戸記念館
～大学内部監査の課題克服への対応～ 参加人数 36名

広がっていく監査対象をどう見極め、監査内容の高度化にどのように対応し、実効性ある監査の取り組みの推進により、大学経営上の「真の益」につなげていかなければならないことを考慮し、会計検査院の指摘型監査の動向を踏まえて、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについてグループワークを交えて意見交換・協議を行った。

- 内容 1) 「公的研究費並びに補助金の管理・監査に関する会計検査院の視点 (第2弾)」
講師: 皆川 勇一 氏 (会計検査院 文部科学検査第1課 文部科学統括検査室室長)
- 2) 「第5回 身近な事例研究で身につく大学内部監査の実践テクニックの基本」
講師: 古閑 宣仁 氏 (東京理科大学 監査室長)

5. 財政課題研究会議

- ・ 7月 1日 財政課題研究会議 於: 東京理科大学 森戸記念館
～会計に大学経営における課題～ 参加人数 33名

学校法人会計基準が改正され、区分表示が求められたことから、より詳細な分析と開示が必要となり、それがどんな影響を及ぼすかを検証しなくてはならず、その影響について、大学経営に携わって多くの者が認識・理解して、経営に臨まなくなるとはならず、そのための機会を設定した。

- 内容 1) 「学校法人会計基準改正と今後の学校法人経営への影響」
講師: 奈尾 光浩 氏 (有限責任監査法人トーマツ)
- 2) 「学校法人会計基準改正に伴う実務的問題と説明の困難性」
講師: 渡邊 徹 氏 (日本大学 医学部経理長)

- ・ 7月 3日～5日 財政課題研究研修会 於: 下田東急ホテル
～大学の経営改革に管理会計をどう活用していくか～ 参加人数 6名

講師：加用 久男 氏（エグゼクティブ・パートナーズ 理事、
元野村総合研究所 常務理事）

大学を取り巻く環境の中で大学の経営改革においても管理会計的思考及び手法を活用していくことは重要で、諸外国では大学をはじめとする公的機関においてかなり活用されている。今回は事例を用いて、財務の視点からの管理会計的分析をもとに、大学の質保証に寄与し大学価値。評判をあげ、あわせて大学の財務体質をいかに強化していくかについて討議することを目的にワークショップ形式を取り入れて会議を進めた。

内容 第1日目（ 7月 3日）

- ・大学法人改革に求められるmpの
 - 1) 現在の法人改革に欠けているものは何か⇒グループ討議
 - 2) 論理的思考と展開⇒グループ討議
 - 3) 改革素案の修正（各自）

第2日目（ 7月 4日）

- ・改革スタッフとして備えるべきものの見方と脳力
 - 1) 時代の流れをとらえる；現在のトレンドは何か⇒グループ討議
 - 2) 企業の目的は何か；では大学法人の目的は
 - 3) 損益分岐点分析（管理会計）は戦略思考に繋がる
 - 4) 企業会計の動向；マネジメントルール（事業別損益）
 - 5) 改革の実践と目標数値の役割
 - 6) スタッフとして備えるべきワークスタイル
 - 7) 改革素案をブラッシュアップ⇒グループ討議

第3日目（ 7月 5日）

- ・各自の改革案の作成
 - 1) 改革実践事例の研究
 - 2) 改革の実践にあたっての注意事項⇒グループ討議
 - 3) 改革案の完成

6. 監査課題研究会議

- ・ 3月13日 監査課題研究会議 於：同志社大学 寒梅館
～大学監査の質管理とガバナンス～ 参加人数 32名

今後、大学にあっては社会的責任を果たすうえで監査の質管理は重要になり、そのためには、大学のガバナンスの本質と課題を明確にし、監査の質管理を通じて効果的かつ効率的な経営を進めるにはどのようなことが求められるかについて協議を行った。

内容 1) 「大学監査の本質」

講師：清水 涼子 氏（関西大学 大学院会計研究科教授）

2) 「大学の監査のあり方と質の向上に向けて」

講師：板戸 史朗 氏（有限責任監査法人トーマツ ディレクター）

3) 「大学のガバナンスと監査」

講師：江島 義道 氏（京都大学 監事）

- ・ 4月25日 監査課題研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～ガバナンス構築に向けた大学のシステム監査と内部監査のかかわり～ 参加人数 43名

今、大学では費用支出の適切性を図る仕組みの構築と支出内容の説明責任の要求、加えて大学経営の効率化や経営品質の向上への実現などが求められ、それらに対応するために、ITガバナンスが必要となっているにもかかわらず、大学では必ずしも整備が進んでいないIT統制、その整備が大

学の内部統制の構築、内部監査のありよういかに重要かを協議を行い、ガバナンス向上の糧としていく。

内容 1) 「ガバナンス向上のためのシステム監査」

講師：島田 裕次 氏（東洋大学 総合情報学部教授）

2) 「内部監査（室・人）の限界への挑戦

－内部監査で何が変わるのか、変えられるか、そして変えたか、変わったか」

講師：古閑 宣仁 氏（東京理科大学 監査室長）

- ・ 6月11日 監査課題研究会議 於：立命館大学 朱雀キャンパス
～監査の効果－ディスクロージャー情報とその品質～ 参加人数 22名

今後、大学にあっては社会的責任を果たすうえで監査の資管理は重要になってくる。そのためには、ディスクロージャー情報の品質を明確にし、監査が及ぼす効果を通じて効果的かつ効率的な経営を進めるにはどのようなことが求められるかについて協議を行った。

内容 1) 「大学における監査の本質と役割－批判的監査と建設的監査」

講師：加藤 正治 氏（龍谷大学 経営学部教授）

2) 「大学ガバナンス強化・推進に会計・監査はどうかかわれるのか」

講師：平岡 彰信 氏（清友監査法人 代表社員 公認会計士）

3) 「ディスクロージャーに果たす監査の役割」

講師：松本 祥尚 氏（関西大学 大学院会計研究科）

- ・ 9月12日 監査課題研究会議 於：龍谷大学 深草キャンパス
～大学の監査における質的問題点
－大学の価値向上に資する監査をいかに確立していくか～
参加人数 15名

大学の監査における質的問題点を明らかにし、大学監査の重要性について協議を行った。

内容 1) 「あるべき大学の情報公開と監査－イギリスの制度を参考にして」

講師：加藤 正治 氏（龍谷大学 経営学部教授）

2) 「非営利組織体に対する監査の課題とその方向性

－大学に対する監査の意義についての再認識」

講師：藤岡 英治 氏（大阪産業大学 経営学部教授）

3) 「大学監査の品質確保及び向上に向けて」

講師：大谷 智英 氏（新日本有限監査法人 パートナー 公認会計士）

- ・ 9月19日 監査課題研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～監査は大学の価値向上にどうかかわるか～ 参加人数 11名

大学において最も重要な活動は教育研究活動であり、その充実こそが大学の社会的な信頼を高め、大学の価値向上へとつながるとの考えのもとに、その大学の価値向上に監査はどうかかわるかについて、財務の役割・戦略を追究するとともに、教学監査のありようをどのように考えていくかを事例の考察を通して協議を行った。

内容 1) 「教育研究活動の社会的信頼を高めるための財務戦略」

講師：伊藤 嘉基 氏（永和監査法人 代表社員）

2) 「戦略計画を軸とした大学経営における教学監査の役割

－米国流企業経営における業務監査の役割を参考として」

講師：工藤 一彦 氏（東京電機大学 特別専任教授）

- ・ 10月22日 監査課題研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学監査のあり方とその課題～ 参加人数 27名

大学において最も重要な教育研究活動の充実に結びつき、大学の社会的な信頼を高める大学監査のあり方はいかなるものか、その確立に向けて何を行わなければならないかを突き詰め、その結果、大学の価値向上へとつながるとの考えのもとに、そこに監査はどうかかわるかについて、事例の考察を通して協議を行った。

内容 1) 「大学監査の在り方と充実・強化」

講師：原 秀敬 氏（新日本有限責任監査法人 シニアパートナー）

講師：大熊 俊也 氏（新日本有限責任監査法人 シニア）

2) 「未来のある監査を目指して」

講師：島田 裕次 氏（東洋大学 総合情報学部教授）

- ・ 10月31日 監査課題研究会議 於：東京理科大学 神楽坂キャンパス
～戦略的大学の構築に大学監査はどのようにかわるか～

参加人数 28名

大学を生かす戦略を考えていくにあたって、“of management”と“off management”の観点から、大学監査は今後、どのように向かうべきかについて、大学における内部監査の課題の解決を図りながら、教学監査のありようを事例の考察を通して協議し、大学監査の品質とは何かを突き詰めた。

内容 1) 「大学における内部監査の課題」

講師：星野 雄滋 氏（有限責任監査法人トーマツ パートナー）

2) 「大学の成長を支える IR・内部監査・教学監査」

- ・ 11月26日 監査課題研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学ガバナンス向上への内部監査の効果～

参加人数 27名

大学にどうして内部監査が必要なのかを突き詰めて、内部統制を基軸とする大学における内部監査のありようとその進め方を展開することとし、大学が抱えているリスクをいかにマネジメントするかを考えながら、大学経営と内部監査にかかわる課題を剔抉し、内部監査の原点を究めて、アウトカムへのつながりを模索していった。

内容 1) 「不正リスク評価の意義と取り組み事例」

講師：森谷 博之 氏（有限責任監査法人トーマツ シニアマネージャー）

2) 「大学監査の原点を考えるーガバナンスの向上に向けて」

講師：島田 裕次 氏（東洋大学 総合情報学部教授）

- ・ 12月13日 監査課題研究会議 於：早稲田大学 総合学術情報センター国際会議場
～監査を通じた大学経営上の課題ー社会的責任の果たし方～

参加人数 23名

大学に対する社会的関心が高まりつつある中、大学の社会的責任のあり方を問うとともに、大学ガバナンス再構築は今後避けては通れない課題であり、大学法人がパブリック・アカウンタビリティを果たすためにはいかにあるべきかを“監査”というものを通じて模索した。

内容 1) 「大学ガバナンスの再構築に向けて～私立学校法の法理と現実との乖離」

講師：鈴木 康洋 氏（中央大学 常任監事）

2) 「大学の社会的責任の在り方」

～競争的資金の健全な使用に向けて教職員の意識を変えるためには」

講師：大久保 和孝 氏（新日本有限責任監査法人 シニアパートナー）

7. 監査実務研究会議

- ・ 7月22日 監査実務研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館

～大学変革に求められる経営戦略～

参加人数 19名

大学の価値向上に資する監査をいかに確立していくかは重要な視点といえ、大学の価値を向上させようという一点で目的を共有したうえで、緊張関係と信頼関係を両立させつつ、監査の質を高め、経営の質の向上につなげていくことが監査の本質といえるかを問う協議を進めた。

内容 1) 「アベノミックスと大学成長戦略

～成果を目指す経営戦略、財務、そして統合的リスク管理」

講師：川原 淳次 氏（ブラックロック・ジャパン株式会社

コンサルタント・リレーションズ部長）

2) 「リスクマネジメント」に基づく大学経営のあり方」

講師：浅古 弘 氏（早稲田大学 法学学術院（法務研究科）教授）

8・大学職員管理運営実務研修会

・ 7月10日～12日

参加人数 24名

大学法人業務の実務研修会

於：東京理科大学 森戸記念館

～大学法人実務を深く理解して応用し、学校運営に生かすための研修～

大学職員の基礎・基本である、業務を的確に執行でき、かつ戦略的な思考力を備えた職員の育成に向けて、法人・大学の管理運営実務の基礎を養うとともに、力量アップを図ることを目指して行った。

内容 第1日目（7月10日）

1) 「学校組織のあり方とガバナンス

－適正な管理運営を行える組織の確立と運用の重要性」

講師：早乙女 徹 氏（芝浦工業大学 常務理事）

2) 「競争的資金の管理と内部統制のあり方」

講師：国山 しのぶ 氏（新日本有限責任監査法人 教育セクター支援室）

第2日目（7月11日）

1) 「大学の質保証システムの構築と管理運営」

講師：工藤 潤 氏（大学基準協会 事務局長、大学評価・研究部長）

2) 「大学経営の課題とガバナンス体制の構築」

構築：吉川 高史 氏（新日本有権責任監査法人 教育セクター室）

3) 「中長期経営計画の実質化に向けて」

講師：片山 英治 氏（野村証券 法人企画部 主任研究員）

第3日目（7月12日）

1) 「決算書類の作成・開示と会計監査並びに財務分析と経営改善」

講師：伊藤 嘉基 氏（永和監査法人 代表社員）

2) 「大学改革に必要なスタッフ力量の育成」

講師：加用 久男 氏（野村総合研究所 元常務取締役）

刊行物

・大学監査協会ニュース No.5

【研究成果】 平成25年度（自：平成25年1月1日 至：平成25年12月31日）

1. 大学における内部統制に関する基準

- ・大学内部統制基準
- ・整備状況チェックリスト
- ・運用状況チェックリスト

2. 大学経営の機能評価

【事業計画書】（平成25年度）

当協会の設立趣旨に鑑み、教育研究の質を担保する「大学法人の経営の質の向上」に必要なガバナンスの強化と経営の透明性の向上に資するべく、下記を基本方針として事業を計画する。

1. 大学における監査および関連する諸分野についての理論及び実務の研究の推進
2. 大学における監査に携わる監事、内部監査担当者および会計監査人による監査の質とその実効性の向上、および三者の交流の促進と専門的能力の向上
3. 大学監査体制の強化・充実のための大学監査に関する指針の作成と知識の普及

上記の基本方針を踏まえ、下記の3課題（中長期事業計画）への取り組みの中で、平成25年度の事業計画を推進する。

1. 大学監査の実務への導入、実践化に向けての支援
2. 大学監査の質向上
3. 大学監査の質保証

I. 三様監査の実効性の向上のための研究会議の実施

監事、内部監査担当者および会計監査人による三様監査の実効性の向上を目的として、監事会議、大学ガバナンス会議、教学監査研究会議、内部監査研究会議、財政課題研究会議、監査課題研究会議並びに大学職員管理運営実務研修会について企画・立案し、実施するとともに、三様監査に直接関連する重要な法令や通達について解説の機会を設ける。

1. 監事会議

大学法人が持続的に発展していくためには監査機能を駆使していかなければならない。本会議は監事を対象に、監査の質の向上をめざし、その上で監事としての職責を果たし、監査の理論並びに実務上の隘路・問題点等、監査業務に関する必要な知識の習得、多様な監査体験の共有、あわせて監事相互の情報・意見の交流を目的として開催する。大学法人が持続的に発展していくためには監査機能を駆使していかなければならない。その際、平成24年度に策定した「大学法人における監事監査の強化・充実に関する指針」等を活用する。

以上のことを推進するため、年間2回（6月下旬、10月中旬）に会議を開催する。

2. 大学マネジメント会議

本会議は理事長、学長、理事（総務・教務・財務等）、監事、内部監査担当者、経営企画担当者等並びに会計監査人など、大学法人の監査を担う責任者を対象に、大学法人の監査機能を十全に果たすための人と組織等のあり方を討議し、ユニバーシティ・ガバナンスの強化に資することを目的として開催する。その際、平成24年度に策定した教学監査基準、内部統制基準並びに大学経営機能評価等を活用する。

以上のことを推進するため、年間3回（1月下旬、3月下旬、7月下旬）に会議を開催する。

3. 教学監査研究会議

本会議は監事、教学担当理事者、内部監査担当者、経営企画担当者等を対象に、教学監査の推進に向けて教学監査における問題点や疑問点等について分析・討論するとともに、評価と関連を持たせて、監査手法を含めた教学監査のあり方等を協議することを目的として開催する。その際、平成24年度に作成した教学監査、チェックリスト等についての理解を得る取り組みを合わせて行う。

加盟法人の実態からみれば、教学監査の機能を実質的に有効に働かせることが重要であり、それが

教学の質を高めていくことにも直結するものであることについて共通認識を形成することに力を置いて取り組むこととし、そのためのチェックリストなどの充実を進めるため、大学法人の実践事例を使って、年間3回（7月下旬、9月中旬、11月下旬）の会議を開催する。

4. 内部監査研究会議

本会議は内部監査担当者を対象に、①内部監査担当者に求められる資質の研究、②内部監査の理論と実務の体系的な講習、③経営並びに監査にかかわる課題の研究、④内部監査の実務上の隘路・問題点等の発見・解決、⑤監査実施の方法、監査結果に対する具体的な改善方法などの究明、⑥内部統制を基軸とする内部監査の進め方、⑦内部監査人として知っておくべき重要課題の把握などを、内部監査基準、内部監査チェックリスト、監査における業務にかかるフローチャートを通して、内部監査担当者並びに監事スタッフ相互の情報・意見の交流を目的として開催する。その際、平成24年度に作成した内部監査基準、チェックリスト等大学の内部監査の枠組みについての理解を得ることを目指す。

以上のことを推進するため、年間4回（6月下旬、9月下旬、10月下旬、11月下旬）の会議を開催する。

5. 財政課題研究会議

大学を取り巻く環境の変化に対応するためには、経営改革、特に財政改革が必要である。このためには、現行の大学法人にかかわる会計基準の問題点・課題等の解決を進めなければならない。さらに事実を厳しい目で冷徹に見て問題点を発見する訓練、対策を徹底的に考え抜く力の養成、そしてリーダーシップを発揮して試行錯誤を繰り返し、実践しながらやり抜く力を身につけることも必要とされる。そのためには、現在の財務会計ばかりでなく、各大学の大学としての組織の基本的特性を把握した上で、改革に導く管理会計手法を実践的に学んで活用できなければならない。

そこで、大学のガバナンスの強化とサステナビリティに資することを目的に当会議を開催する。

以上のことを推進するため、監事、財務・企画担当の理事、内部監査担当者、経営企画担当者等を対象に年間4回（6月下旬、7月中旬、9月上旬、11月上旬）の会議を開催する。

6. 監査課題研究会議

本会議は三様監査を進める上での問題点・課題について研究し、討議する。その際、平成24年度に各委員会での検討内容を参考に活用する。

以上のことを推進するため、年間6回（3月中旬、6月上旬、7月中旬、9月下旬、11月上旬、12月中旬）の会議を開催する。

7. 監査実務研究会議

監査実務上の様々な問題点および疑問点について分析・討論を行うとともに、各法人における監査事例について輪番で報告・発表するほか、監事監査、内部監査、会計監査人監査に関連した個別テーマについて監査手法、連携等について研究する。

以上のことを推進するため、3か月に1回程度の東部地区と西部地区において2回ずつ会議を開催する。

8. 大学職員管理運営実務研修会

法人、大学の適正な管理運営を図るためには、監査や牽制機能の強化の前提として、総務、財務、管財、企画、人事など法人・大学の管理運営にかかわる責任者および各職員組織の実務や判断が法やルールに則り、適正な手続きを経て、正確に執行されることが基本である。そのためには学校教育法や私立学校法など各種関連法規にもとづく理事会や評議員会の位置づけや役割、寄付行為や学則をはじめとする法人・大学の基本規程の位置づけや意味を正確に理解し、業務を的確に執行できる職員の育成が不可欠である。

日常の実務は、どうしても前例踏襲のルーチンに陥りがちであるので、今後は常に「適正な執行」

に立ち返る思考を定着させ、それをトレーニングすることにより、法人・大学の管理運営実務の基礎を養うとともに力量アップを図ることとする。この力量は法人・大学すべての職員共通に必要なもので、今日、こうした力量を備えた人材を計画的に育成していくことが重要であり、本研修会においては、法人・大学での業務に関して経験が少ない方、企業等から転職されてきた方なども含め、実際の業務に応用していただける内容で構成している。

以上のことを踏まえ、上記の研修会を7月中旬に3日間にわたり開催する。

II. 機関誌その他の図書の刊行

大学監査に携わる関係者に対する情報提供および監査に関連した報告書等、監査事例の紹介、等を掲載した本協会の機関誌およびその他刊行物を刊行する。

III. 大学経営の質向上にかかる研究

大学監査の機能の充実およびその質の保証を通じて、大学経営の質の向上が図られるよう、大学における監査システムおよびそのあり方等について研究する。監査のポイントは、重大なリスクに対応する適切な統制が業務に組み込まれているか、そしてそれがいかに機能しているかである。したがって、以下の8委員会における研究結果に基づき、会議等を設け、さらに監査に関する指針、関係各界への建議または答申等を取りまとめる。

1. 企画委員会

- (1) 当協会の事業運営のあり方を協議し、その結果を理事会に提示する。
- (2) 各種委員会の検討内容の調整を行うとともに、各研究会議および研究会の企画内容についても検討を行う。
- (3) 次年度の事業計画案を策定する。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

2. 監事監査委員会

- (1) 大学法人の健全な維持・発展のための監事の役割・責任を果たすために、内部監査・会計監査人監査の関係を考慮に入れ、監事監査のあり方を研究する。
- (2) 大学法人における監事監査基準、監事監査マニュアル、監事監査計画、監事監査調書、監事監査チェックリストをもとに作成した「大学法人における監事監査の強化・充実に関する指針」の推進等の研究をさらに深化させる。その後、監事監査の品質管理基準の策定を試みる。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

3. 内部統制委員会

- (1) 大学の持続的発展を可能とするガバナンスの向上のためには、IR(Institutional Research)を踏まえた経営者の適切な意思決定画必要である。このことを支える信頼度の高い内部統制システムの構築に向けた研究を進める。
- (2) 大学法人における内部統制を踏まえた経営のあり方を研究する。
- (3) 平成24年度に策定した大学法人における内部統制基準、内部統制チェックリストを踏まえ、解釈指針を作成する。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

4. 教学監査委員会

- (1) 大学法人が設置する大学の教学面に関する事項について、教育の質保証の視点から研究するとともにその研究の過程で、より一層多くの教学監査チェックリストを策定する。

- (2) 平成24年度に作成した教学監査基準、チェックリスト等を踏まえて、同基準に沿って教学監査を進める際の問題点の抽出による同基準等の深化を進めるとともに、内部監査担当者がどのように教学監査を進めるべきかを検討する。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

5. 内部監査委員会

- (1) 平成24年度に作成した大学法人における内部監査の定義、大学内部監査人に求められる資質、内部

監査基準、内部監査実施の基本手順、内部監査実施のフローチャート、内部監査実施のチェックリストをもとに、リスクユニバース、リスクマップ並びに分野別内部監査の留意事項等をさらに研究し、深化させる。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

6. 会計・財務委員会

- (1) 会計監査を中心に、大学法人における財務報告の信頼性と経営の透明性の向上にかかわる会計・財務に関する事項について研究する。

- (2) 大学法人における会計の今後のあるべき方向性とそれにまつわる諸問題について、管理会計の視点をも含めて研究する。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

7. リスクマネジメント委員会

- (1) 大学が抱えているリスクを洗い出し、評価し、リスクの多様化に対応するために、一般企業において導入している ERM (Enterprise Risk Management) の大学への活用も含めて、大学自立のための評価と

教育研究の持続的発展の視点からリスクマネジメントについて平成24年度に策定した内容を深化させ

るとともに、各大学法人のガバナンス強化のために、作成中の「大学経営機能評価」をさらに研究し、深化させる。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

8. 広報委員会

- (1) 機関誌「大学サステナビリティ研究」並びに「大学監査協会ニュース」を通じ、三様監査のありよう、実務等に関する幅広い情報を提供する。

- (2) 本協会ホームページ等を通じた広報活動の拡充を図る。

以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

IV. 内部統制システムを含む監査体制のデザイン及び助言・指導

健全な内部統制システムの構築と維持は、三様監査の実をあげるための前提条件であり、大学法人のガバナンスを強化するために不可欠であるが、それは個々の大学法人の実情にあわせてデザインされなければならない。上記「I」および「II」における研究結果および検討成果に基づき、大学法人における内部統制システムの構築と維持に必要な助言・指導を行い、内部統制のデザインづくりをアドバイスする。

【会員の増減】

	入・退会の状況			
	平成24年度	平成25年度	入会	退会
法人	118	124	9	3
個人	10	13	3	—
計	128	137	12	3

【平成25年12月31日現在の会員名簿】

法人会員					
1	愛知大学	51	上智学院	101	福岡大学
2	青山学院	52	昭和女子大学	102	佛教教育学園
3	麻布獣医学園	53	真宗大谷学園大谷大学	103	文京学園
4	亜細亜学園	54	新日本有限責任監査法人	104	文教大学学園
5	あずさ監査法人	55	聖学院	105	法政大学
6	跡見学園	56	成蹊学園	106	松山大学
7	幾徳学園	57	清泉女子大学	107	宮城学院
8	茨城キリスト教学園	58	西南学院	108	民間外交推進協会
9	岩手医科大学	59	聖マリアンナ医科大学	109	武庫川学院
10	梅村学園(中京大学)	60	清稜監査法人	110	武蔵野美術大学
11	永和監査法人	61	専修大学	111	名桜大学
12	追手門学院	62	梅檀学園	112	明治学院
13	大阪学院	63	創価大学	113	明治大学
14	大阪産業大学	64	園田学園	114	名城大学
15	学習院	65	大東文化学園	115	明星学苑
16	神奈川大学	66	太陽 ASG 有限責任監査法人	116	桃山学院
17	関西医科大学	67	拓殖大学	117	山梨英和学院
18	関西大学	68	中央大学	118	有限責任監査法人トーマツ
19	関西学院	69	津田塾大学	119	立教学院
20	関東学院	70	鶴学園	120	立正大学学園
21	北里研究所	71	帝京大学	121	立命館
22	京都学園	72	帝塚山学園	122	龍谷大学
23	京都産業大学	73	天理大学	123	早稲田大学
24	京都精華大学	74	東海大学	124	和洋学園
25	京都橘学園	75	東京医科大学		
26	京都薬科大学	76	東京家政学院		
27	近畿大学	77	東京経済大学		
28	久留米大学	78	東京女子医科大学		
29	敬心学園	79	東京電機大学		

30	恵泉女学園	80	東京農業大学		
31	県立広島大学	81	東京理科大学		
32	光華女子学園	82	同志社		
33	高知工科大学	83	東北学院		
34	甲南学園	84	東北文化学園大学	個人会員	
35	神戸学院	85	東洋英和女学院	1	安倍 潤
36	神戸女学院	86	東陽監査法人	2	井出 健二郎
37	國學院大學	87	東洋大学	3	内野 直忠
38	国際基督教大学	88	獨協学園	4	大塚 宗春
39	国際総合研究所	89	トヨタ学園	5	奥島 孝康
40	国際武道大学	90	南山学園	6	梶間 栄一
41	国士館	91	日通学園	7	菊地 裕明
42	産業能率大学	92	日本医科大学	8	鈴木 豊
43	慈恵大学	93	日本工業大学	9	中野 淑夫
44	静岡文化芸術大学	94	日本女子大学	10	内藤 均
45	実践女子大学	95	根津育英会	11	西野 芳夫
46	芝浦工業大学	96	ノートルダム女学院	12	八田 英二
47	修道学園	97	白鷗大学	13	松本 香
48	秀明学園	98	兵庫医科大学		
49	順天堂	99	広島女学院		
50	城西大学	100	福岡工業大学		

【役員名簿】（平成24年12月31日現在）

会 長（理事）	奥 島 孝 康	早稲田大学	名誉顧問
副会長（理事）	佐 伯 弘 治	日通学園	学園長
〃（理事）	八 田 英 二	同志社	理事長・大学長
理 事	赤 松 徹 真	龍谷大学	大学長
〃	池 内 啓 三	関西大学	理事長
〃	伊 藤 智 文	日本監査役協会	顧問
〃	衛 藤 卓 也	福岡大学	大学長
〃	小 川 秀 興	順天堂	理事長
〃	鎌 田 薫	早稲田大学	総長
〃	高 祖 敏 明	上智学院	理事長
〃	重 松 博 之	会計検査院	顧問
〃	鈴 木 典 比 古	国際教養大学	理事長・大学長
〃	関 谷 登	東北学院	常任理事
〃	長 田 豊 臣	立命館	理事長
〃	ハンス ユーゲン・マルクス	南山学園	理事長
〃	日 高 義 博	専修大学	理事長・大学長
〃	平 尾 光 司	昭和女子大学	理事長
〃	藤 井 清 孝	北里研究所	理事長
〃	吉 岡 博 光	東京女子医科大学	名誉理事長

- 〃 根本 和彦 (津田塾大学 総務課長)
〃 松本 香 (公認会計士)
〃 山口 更織 (有限責任監査法人トーマツ パートナー)

(リスクマネジメント委員会)

- 委員長 浅古 弘 (早稲田大学 法学学術院 (法務研究科) 教授・監査室長)
委員 小出 康之 (立教学院 常任監事)
〃 早乙女 徹 (芝浦工業大学 事務局長)
〃 奈尾 光浩 (有限責任監査法人トーマツ パートナー 学校法人委員会委員長)
〃 舟山 亮 (東京情報大学 事務局長)
〃 吉川 高史 (新日本有限責任監査法人 パートナー)
〃 吉澤 正幸 (東海大学 監査室長)

(広報委員会)

- 委員長 西川 幸穂 (立命館 人事部長)
委員 萩 慎太郎 (國學院大學 総合企画部広報課主任)
〃 内藤 均 (早稲田大学 監査室課長)
〃 山内 憲男 (東京家政学院)